

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2018年11月16日～2050年9月16日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ. ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
投資制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	隔月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
	資産成長型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

NWQグローバル厳選証券ファンド

(為替ヘッジあり/隔月分配型) (為替ヘッジなし/隔月分配型)
(為替ヘッジあり/資産成長型) (為替ヘッジなし/資産成長型)
(愛称：選択の達人)

運用報告書(全体版)

隔月分配型 (第41期(決算日 2025年11月17日)
第42期(決算日 2026年1月19日)
第43期(決算日 2026年3月17日))

資産成長型 第15期(決算日 2026年3月17日)
(作成対象期間 2025年9月18日～2026年3月17日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界の米ドル建資産に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3379>
<3380>
<3381>
<3382>

為替ヘッジあり／隔月分配型

最近15期の運用実績

決算期	基準価額				公社債組入率	投資利益組入	信託証券比率	純資産総額
	(分配落)	税金配	込金	騰落率				
	円	円		%	%	%	百万円	
29期末 (2023年11月17日)	8,420	30	△	1.1	—	99.3	843	
30期末 (2024年1月17日)	8,689	30		3.6	—	99.3	966	
31期末 (2024年3月18日)	8,624	30	△	0.4	0.0	99.3	1,004	
32期末 (2024年5月17日)	8,602	30		0.1	0.0	99.3	1,010	
33期末 (2024年7月17日)	8,664	30		1.1	0.0	99.3	1,006	
34期末 (2024年9月17日)	8,629	30	△	0.1	0.0	99.3	1,005	
35期末 (2024年11月18日)	8,577	30	△	0.3	0.0	99.4	957	
36期末 (2025年1月17日)	8,429	30	△	1.4	0.0	99.1	942	
37期末 (2025年3月17日)	8,272	30	△	1.5	0.0	99.3	908	
38期末 (2025年5月19日)	8,273	30		0.4	0.0	99.5	892	
39期末 (2025年7月17日)	8,360	30		1.4	0.0	99.4	835	
40期末 (2025年9月17日)	8,572	30		2.9	0.0	98.3	842	
41期末 (2025年11月17日)	8,534	30	△	0.1	0.0	99.3	805	
42期末 (2026年1月19日)	8,695	30		2.2	0.0	99.2	796	
43期末 (2026年3月17日)	8,615	30	△	0.6	0.0	99.3	793	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

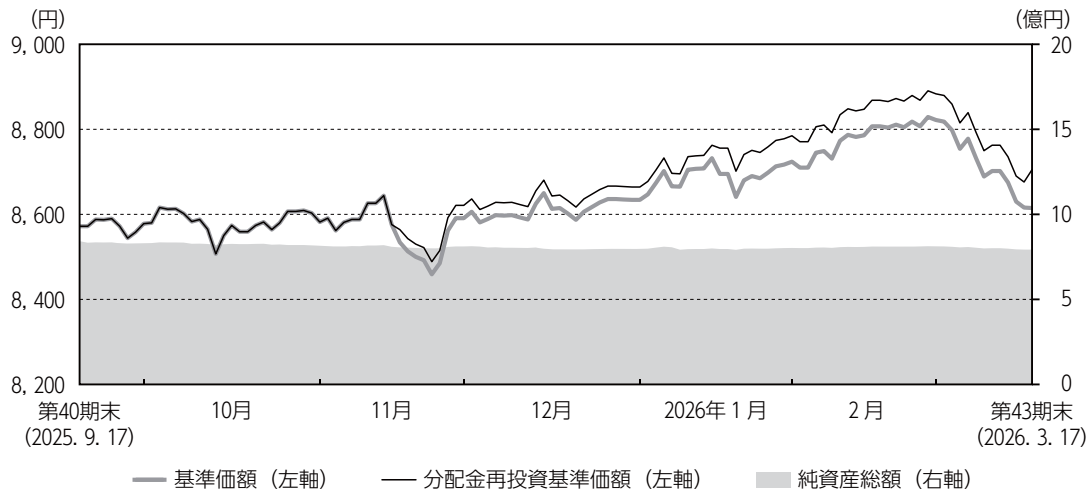
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第41期首：8,572円

第43期末：8,615円（既払分配金90円）

騰落率：1.6%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」で保有している株式など

すべての資産クラスがプラス寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 組 入	信 託 証 比	券 率
		円	騰 落 率					
第41期	(期 首) 2025年 9月17日	8,572	—		0.0			98.3
	9月末	8,578	0.1		0.0			99.4
	10月末	8,582	0.1		0.0			99.1
	(期 末) 2025年11月17日	8,564	△ 0.1		0.0			99.3
第42期	(期 首) 2025年11月17日	8,534	—		0.0			99.3
	11月末	8,591	0.7		0.0			99.3
	12月末	8,634	1.2		0.0			99.2
	(期 末) 2026年 1月19日	8,725	2.2		0.0			99.2
第43期	(期 首) 2026年 1月19日	8,695	—		0.0			99.2
	1月末	8,724	0.3		0.0			99.3
	2月末	8,822	1.5		0.0			99.3
	(期 末) 2026年 3月17日	8,645	△ 0.6		0.0			99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2025. 9. 18 ~ 2026. 3. 17）

■ 海外金融市況

海外金融市場では、株式市場は上昇、国債金利は上昇（債券価格は下落）しました。

株式市場は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利下げ決定などを受け、上昇しました。さらに2025年10月下旬にかけては、成長期待が高まったA I（人工知能）・半導体関連企業が相場上昇をけん引し、株価は上昇しました。11月には、米国政府機関の一部閉鎖の影響が嫌気されて下落しましたが、同月下旬には利下げ観測が再び高まったことを好感し、反発しました。12月以降も、F R Bによる利下げの決定や流動性供給の開始、半導体関連企業の好業績などが好感され、株価は上昇しました。2026年1月以降は、経済指標の改善やインフレの沈静化が好感された一方で、「A I 脅威論」の台頭を受け、情報サービスやソフトウェア関連の企業が急落しました。また3月に入ると、中東情勢の緊迫化を受けて株価はさらに下落し、当作成期末を迎えました。

債券市場では、当作成期首より、雇用統計の結果などを受けて労働市場の悪化懸念が強まり、利下げ期待が高まったことなどから、2025年10月中旬にかけて、金利は低下（債券価格は上昇）しました。しかしその後は、F R B 議長が次回利下げについて慎重な姿勢を明確に示したことなどから、11月中旬にかけて金利は上昇しました。11月下旬には、F R B 高官の発言などをを受けて年内の利下げ観測が高まり、金利は再び低下に転じました。12月は、F R B が利下げを決定し、さらに2026年の追加利下げを示唆したことなどから、短期年限の金利は低下した一方で、米国経済の底堅さを示す指標などを受け、中期から超長期年限の金利は上昇しました。2026年1月は、グリーンランドの領有問題をめぐる欧米の対立や、F R B の独立性への懸念などから米ドル離れの思惑が再燃したことに加え、米国で底堅い経済指標が示され、当面の利下げ観測が後退したことなどから、金利は上昇しました。2月末にかけては、消費者物価指数が市場予想を下回ったことなどから年央以降の利下げ観測が高まったことや、「A I 脅威論」により将来的な景気不安が意識されたことなどから、金利は低下しましたが、その後は中東情勢の緊迫化による原油価格の上昇を受けてインフレ懸念が再燃し、金利は上昇して当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2025. 9. 18 ～ 2026. 3. 17）

■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第41期	第42期	第43期
	2025年9月18日 ～2025年11月17日	2025年11月18日 ～2026年1月19日	2026年1月20日 ～2026年3月17日
当期分配金(税込み) (円)	30	30	30
対基準価額比率 (%)	0.35	0.34	0.35
当期の収益 (円)	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,156	1,176	1,184

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第41期	第42期	第43期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 37.45円	✓ 49.15円	✓ 38.40円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	647.13	656.46	660.24
(d) 分配準備積立金	502.22	500.62	516.02
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	1,186.81	1,206.25	1,214.66
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	1,156.81	1,176.25	1,184.66

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第41期～第43期 (2025. 9. 18～2026. 3. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	48円	0.558%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,645円です。
(投 信 会 社)	(14)	(0.163)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(33)	(0.381)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	49	0.562	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

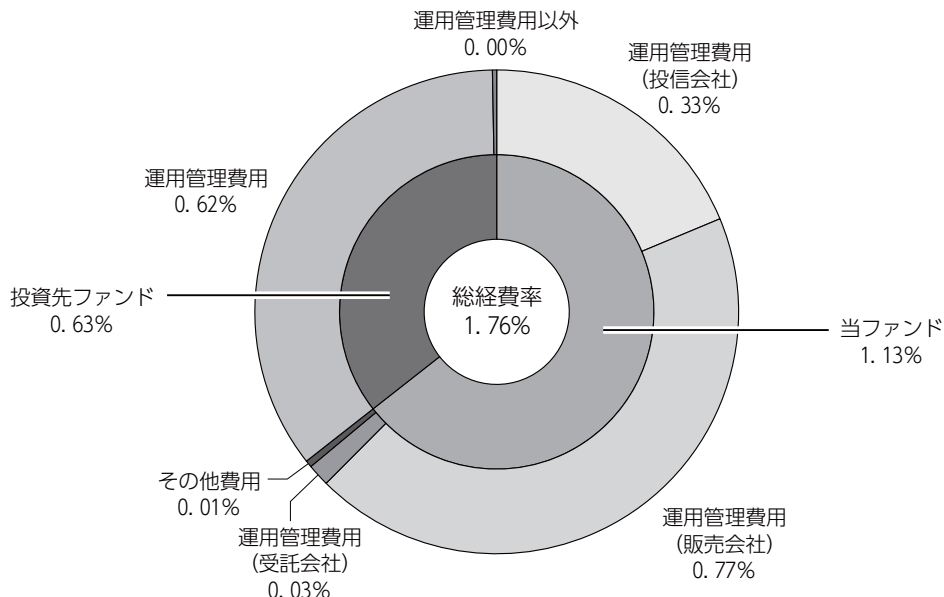
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.76%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2025年9月18日から2026年3月17日まで）

決 算 期		第 41 期 ～ 第 43 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	293.33066	23,447	822.935918	65,470

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 43 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON- HEDGED DISTRIBUTION CLASS	9,915.902005	787,540	99.3

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

*同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 40 期 末		第 43 期 末	
	□ 数	評 価 額	□ 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	1		1	1

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2026年3月17日現在

項 目	第 43 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	787,540	98.8
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	9,720	1.2
投資信託財産総額	797,262	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年11月17日)、(2026年1月19日)、(2026年3月17日)現在

項 目	第41期末	第42期末	第43期末
(A) 資産	812,614,045円	800,500,940円	797,262,998円
コール・ローン等	12,642,101	10,588,932	9,720,599
投資信託受益証券（評価額）	799,970,317	789,910,380	787,540,769
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1,627	1,628	1,630
(B) 負債	7,059,128	4,326,538	4,215,455
未払収益分配金	2,831,847	2,746,909	2,761,563
未払解約金	2,662,922	—	4,909
未払信託報酬	1,553,025	1,556,928	1,415,949
その他未払費用	11,334	22,701	33,034
(C) 純資産総額（A－B）	805,554,917	796,174,402	793,047,543
元本	943,949,013	915,636,511	920,521,056
次期繰越損益金	△ 138,394,096	△ 119,462,109	△ 127,473,513
(D) 受益権総口数	943,949,013口	915,636,511口	920,521,056口
1万口当り基準価額（C／D）	8,534円	8,695円	8,615円

* 当作成期首における元本額は982,493,161円、当作成期間（第41期～第43期）中における追加設定元本額は24,956,822円、同解約元本額は86,928,927円です。

* 第43期末の計算口数当りの純資産額は8,615円です。

* 第43期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は127,473,513円です。

■損益の状況

第41期 自2025年9月18日 至2025年11月17日

第42期 自2025年11月18日 至2026年1月19日

第43期 自2026年1月20日 至2026年3月17日

項 目	第41期	第42期	第43期
(A) 配当等収益	5,100,272円	4,908,415円	4,961,493円
受取配当金	5,093,424	4,898,840	4,953,707
受取利息	6,848	9,575	7,786
(B) 有価証券売買損益	△ 4,276,478	13,988,033	△ 8,135,316
売買益	63,908	14,398,388	1,100
売買損	△ 4,340,386	△ 410,355	△ 8,136,416
(C) 信託報酬等	△ 1,564,359	△ 1,568,295	△ 1,426,282
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	△ 740,565	△ 17,328,153	△ 4,600,105
(E) 前期繰越損益金	△ 117,682,686	△ 115,528,923	△ 100,751,898
(F) 追加信託差損益金	△ 17,138,998	△ 18,514,430	△ 19,359,947
(配当等相当額)	(61,086,358)	(60,108,412)	(60,776,497)
(売買損益相当額)	(△ 78,225,356)	(△ 78,622,842)	(△ 80,136,444)
(G) 合計（D＋E＋F）	△ 135,562,249	△ 116,715,200	△ 124,711,950
(H) 収益分配金	△ 2,831,847	△ 2,746,909	△ 2,761,563
次期繰越損益金（G＋H）	△ 138,394,096	△ 119,462,109	△ 127,473,513
追加信託差損益金	△ 17,138,998	△ 18,514,430	△ 19,359,947
(配当等相当額)	(61,086,358)	(60,108,412)	(60,776,497)
(売買損益相当額)	(△ 78,225,356)	(△ 78,622,842)	(△ 80,136,444)
分配準備積立金	48,111,374	47,593,414	48,274,759
繰越損益金	△ 169,366,472	△ 148,541,093	△ 156,388,325

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第41期	第42期	第43期
(a) 経費控除後の配当等収益	3,535,913円	4,500,972円	3,535,211円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0
(c) 収益調整金	61,086,358	60,108,412	60,776,497
(d) 分配準備積立金	47,407,308	45,839,351	47,501,111
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	112,029,579	110,448,735	111,812,819
(f) 分配金	2,831,847	2,746,909	2,761,563
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	109,197,732	107,701,826	109,051,256
(h) 受益権総口数	943,949,013□	915,636,511□	920,521,056□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当り分配金（税込み）	第41期	第42期	第43期
	30円	30円	30円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

為替ヘッジなし／隔月分配型

最近15期の運用実績

決算期	基準価額				公社債組入率	投資利益率	信託証券比率	純資産額
	(分配落)	税金	込金	騰落				
	円		円		%		%	百万円
29期末 (2023年11月17日)	11,414		90		1.6	—	99.2	11,917
30期末 (2024年1月17日)	11,595		90		2.4	—	99.4	12,510
31期末 (2024年3月18日)	11,741		90		2.0	0.0	99.2	13,726
32期末 (2024年5月17日)	12,273		90		5.3	0.0	99.0	15,405
33期末 (2024年7月17日)	12,693		90		4.2	0.0	99.0	16,887
34期末 (2024年9月17日)	11,281		90	△	10.4	0.0	99.3	15,752
35期末 (2024年11月18日)	12,408		90		10.8	0.0	99.3	18,009
36期末 (2025年1月17日)	12,310		90	△	0.1	0.0	99.2	18,931
37期末 (2025年3月17日)	11,580		90	△	5.2	0.0	99.3	18,938
38期末 (2025年5月19日)	11,418		90	△	0.6	0.0	99.2	19,662
39期末 (2025年7月17日)	11,774		90		3.9	0.0	99.3	20,679
40期末 (2025年9月17日)	11,963		90		2.4	0.0	99.4	21,669
41期末 (2025年11月17日)	12,576		90		5.9	0.0	99.4	23,478
42期末 (2026年1月19日)	13,151		90		5.3	0.0	95.5	26,399
43期末 (2026年3月17日)	13,165		90		0.8	0.0	99.1	28,408

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

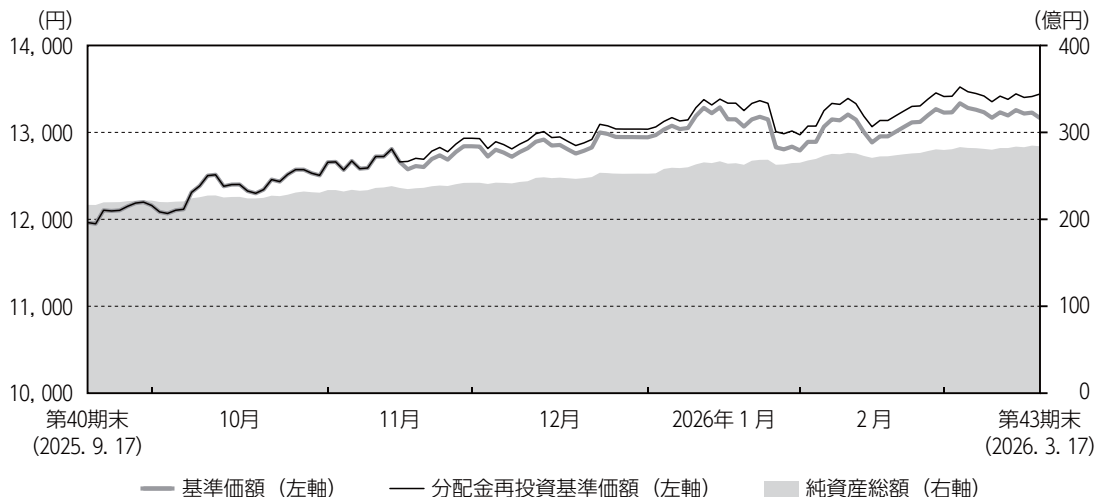
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第41期首：11,963円

第43期末：13,165円（既払分配金270円）

騰落率：12.4%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」で保有している株式などすべての資産クラスがプラスに寄与したほか、米

ドル円為替相場が円安米ドル高となりプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュ・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 入 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率			
第41期	(期 首) 2025年 9月17日	円	%	%	%
	9 月末	11, 963	—	0.0	99.4
	10月末	12, 159	1.6	0.0	98.8
	(期 末) 2025年11月17日	12, 657	5.8	0.0	99.3
第42期	(期 首) 2025年11月17日	12, 666	5.9	0.0	99.4
	11月末	12, 576	—	0.0	99.4
	12月末	12, 840	2.1	0.0	99.2
	(期 末) 2026年 1月19日	12, 944	2.9	0.0	99.3
第43期	(期 首) 2026年 1月19日	13, 241	5.3	0.0	95.5
	1 月末	13, 151	—	0.0	95.5
	2 月末	12, 793	△ 2.7	0.0	98.8
	(期 末) 2026年 3月17日	13, 227	0.6	0.0	99.2
		13, 255	0.8	0.0	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2025. 9. 18 ~ 2026. 3. 17）

■ 海外金融市況

海外金融市場では、株式市場は上昇、国債金利は上昇（債券価格は下落）しました。

株式市場は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利下げ決定などを受け、上昇しました。さらに2025年10月下旬にかけては、成長期待が高まったA I（人工知能）・半導体関連企業が相場上昇をけん引し、株価は上昇しました。11月には、米国政府機関の一部閉鎖の影響が嫌気されて下落しましたが、同月下旬には利下げ観測が再び高まったことを好感し、反発しました。12月以降も、F R Bによる利下げの決定や流動性供給の開始、半導体関連企業の好業績などが好感され、株価は上昇しました。2026年1月以降は、経済指標の改善やインフレの沈静化が好感された一方で、「A I 脅威論」の台頭を受け、情報サービスやソフトウェア関連の企業が急落しました。また3月に入ると、中東情勢の緊迫化を受けて株価はさらに下落し、当作成期末を迎えました。

債券市場では、当作成期首より、雇用統計の結果などを受けて労働市場の悪化懸念が強まり、利下げ期待が高まったことなどから、2025年10月中旬にかけて、金利は低下（債券価格は上昇）しました。しかしその後は、F R B 議長が次回利下げについて慎重な姿勢を明確に示したことなどから、11月中旬にかけて金利は上昇しました。11月下旬には、F R B 高官の発言などを受けて年内の利下げ観測が高まり、金利は再び低下に転じました。12月は、F R B が利下げを決定し、さらに2026年の追加利下げを示唆したことなどから、短期年限の金利は低下した一方で、米国経済の底堅さを示す指標などを受け、中期から超長期年限の金利は上昇しました。2026年1月は、グリーンランドの領有問題をめぐる欧米の対立や、F R B の独立性への懸念などから米ドル離れの思惑が再燃したことに加え、米国で底堅い経済指標が示され、当面の利下げ観測が後退したことなどから、金利は上昇しました。2月末にかけては、消費者物価指数が市場予想を下回ったことなどから年央以降の利下げ観測が高まったことや、「A I 脅威論」により将来的な景気不安が意識されたことなどから、金利は低下しましたが、その後は中東情勢の緊迫化による原油価格の上昇を受けてインフレ懸念が再燃し、金利は上昇して当作成期末を迎えました。

■ 為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、自民党総裁選挙の結果を受けた積極財政や緩和的な金融環境の継続への期待などから、投資家のリスク選好度が高まり、円安が進行しました。2026年1月には、日本の衆議院解散による積極財政推進への思惑などから円安が進行する場面もありました。

が、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受け、円高が進行しました。当作成期末にかけては、米国財務長官による強い米ドル政策を支持する発言や、高市首相が日銀の利上げに難色を示したとの報道、中東情勢の緊迫化を受けたエネルギー高などを受け、円安となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2025. 9. 18 ~ 2026. 3. 17）

■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第41期	第42期	第43期
	2025年9月18日 ～2025年11月17日	2025年11月18日 ～2026年1月19日	2026年1月20日 ～2026年3月17日
当期分配金(税込み) (円)	90	90	90
対基準価額比率 (%)	0.71	0.68	0.68
当期の収益 (円)	90	90	90
当期の収益以外 (円)	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	3,293	3,845	3,867

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第41期	第42期	第43期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 101.98円	✓ 98.88円	✓ 87.40円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	114.51	541.03	✓ 22.61
(c) 収益調整金	2,010.79	2,114.74	2,248.47
(d) 分配準備積立金	1,156.60	1,181.05	1,598.73
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,383.90	3,935.72	3,957.23
(f) 分配金	90.00	90.00	90.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,293.90	3,845.72	3,867.23

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第41期～第43期 (2025. 9. 18～2026. 3. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	71円	0.559%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,800円です。
（投 信 会 社）	(21)	(0.163)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(49)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	72	0.563	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

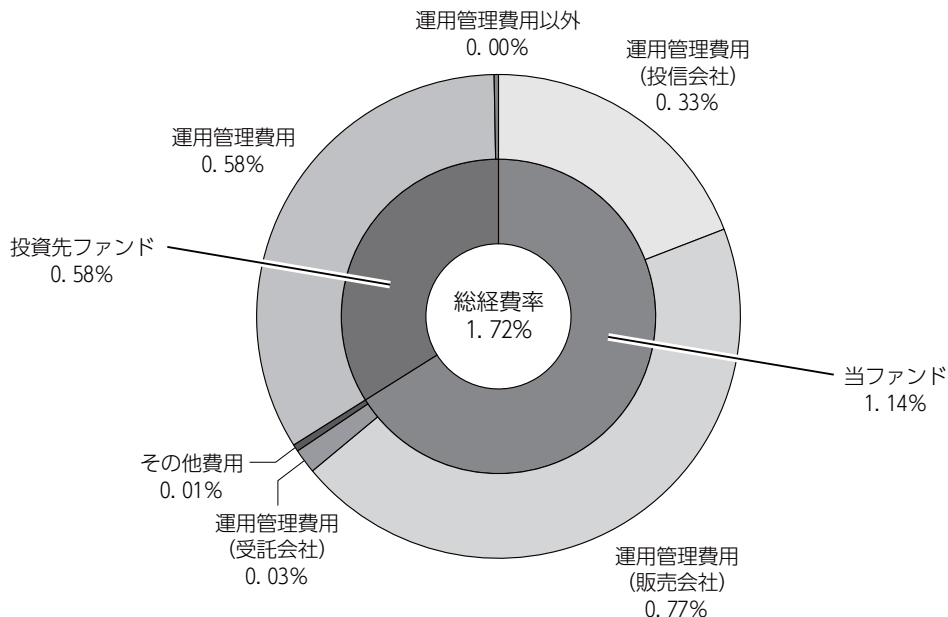
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



総経費率 (① + ② + ③)	1.72%
①当ファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況 投資信託受益証券

(2025年9月18日から2026年3月17日まで)

決 算 期		第 41 期 ～ 第 43 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国（邦貨建）	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	千口 41,071.254459	千円 4,900,148	千口 5,018.157421	千円 600,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファン ド 名	第 43 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON- HEDGED DISTRIBUTION CLASS	千口 230,746.412909	千円 28,154,523	% 99.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

(2) 親投資信託残高

種 類	第 40 期 末			第 43 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額	□ 数	□ 数	評 価 額
ダイワ・マネー・ マザーファンド	千口 1	千口 1	千円 1	千口 1	千口 1	千円 1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2026年3月17日現在

項 目	第 43 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 28,154,523	% 97.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	669,922	2.3
投資信託財産総額	28,824,447	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2025年11月17日）、（2026年1月19日）、（2026年3月17日）現在

項 目	第41期末	第42期末	第43期末
(A) 資産	23,705,424,501円	26,670,750,364円	28,994,447,083円
コール・ローン等	364,773,389	1,471,042,967	669,922,053
投資信託受益証券（評価額）	23,340,649,656	25,199,705,940	28,154,523,571
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1,456	1,457	1,459
未収入金	—	—	170,000,000
(B) 負債	227,012,485	271,211,689	585,709,329
未払金	—	—	340,000,000
未払収益分配金	168,020,301	180,664,782	194,209,540
未払解約金	15,944,665	41,392,939	2,148,527
未払信託報酬	42,734,852	48,486,553	48,330,239
その他未払費用	312,667	667,415	1,021,023
(C) 純資産総額（A－B）	23,478,412,016	26,399,538,675	28,408,737,754
元本	18,668,922,397	20,073,864,754	21,578,837,778
次期繰越損益金	4,809,489,619	6,325,673,921	6,829,899,976
(D) 受益権総口数	18,668,922,397口	20,073,864,754口	21,578,837,778口
1万口当り基準価額（C/D）	12,576円	13,151円	13,165円

* 当作成期目における元本額は18,114,703,201円、当作成期間（第41期～第43期）中における追加設定元本額は4,140,334,070円、同解約元本額は676,199,493円です。

* 第43期末の計算口数当りの純資産額は13,165円です。

■損益の状況

第41期 自2025年9月18日 至2025年11月17日

第42期 自2025年11月18日 至2026年1月19日

第43期 自2026年1月20日 至2026年3月17日

項 目	第41期	第42期	第43期
(A) 配当等収益	196,853,848円	206,052,884円	227,290,690円
受取配当金	196,641,535	205,444,398	226,609,836
受取利息	212,313	608,486	680,854
(B) 有価証券売買損益	1,115,674,140	1,127,365,279	58,800,375
売買益	1,128,952,391	1,133,151,325	59,126,032
売買損	△ 13,278,251	△ 5,786,046	△ 325,657
(C) 信託報酬等	△ 43,047,519	△ 48,841,301	△ 48,683,847
(D) 当期損益金（A+B+C）	1,269,480,469	1,284,576,862	237,407,218
(E) 前期繰越損益金	1,293,958,977	2,370,839,834	3,449,892,236
(F) 追加信託差損益金	2,414,070,474	2,850,922,007	3,336,810,062
(配当等相当額)	(3,753,943,389)	(4,245,107,147)	(4,851,946,871)
(売買損益相当額)	(△ 1,339,872,915)	(△ 1,394,185,140)	(△ 1,515,136,809)
(G) 合計（D+E+F）	4,977,509,920	6,506,338,703	7,024,109,516
(H) 収益分配金	△ 168,020,301	△ 180,664,782	△ 194,209,540
次期繰越損益金（G+H）	4,809,489,619	6,325,673,921	6,829,899,976
追加信託差損益金	2,414,070,474	2,850,922,007	3,336,810,062
(配当等相当額)	(3,753,943,389)	(4,245,107,147)	(4,851,946,871)
(売買損益相当額)	(△ 1,339,872,915)	(△ 1,394,185,140)	(△ 1,515,136,809)
分配準備積立金	2,395,419,145	3,474,751,914	3,493,089,914

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第41期	第42期	第43期
(a) 経費控除後の配当等収益	190,396,720円	198,506,903円	188,611,374円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	213,780,991	1,086,069,959	48,795,844
(c) 収益調整金	3,753,943,389	4,245,107,147	4,851,946,871
(d) 分配準備積立金	2,159,261,735	2,370,839,834	3,449,892,236
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	6,317,382,835	7,900,523,843	8,539,246,325
(f) 分配金	168,020,301	180,664,782	194,209,540
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	6,149,362,534	7,719,859,061	8,345,036,785
(h) 受益権総口数	18,668,922,397□	20,073,864,754□	21,578,837,778□

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

1万口当り分配金（税込み）	第41期	第42期	第43期
	90円	90円	90円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

為替ヘッジあり／資産成長型

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公 社 組 比	債 入 率	投 資 組 入	信 託 証 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 率					
	円	円	%		%			百万円
11期末 (2024年3月18日)	9,541	0	2.0		0.0		95.3	712
12期末 (2024年9月17日)	9,645	0	1.1		0.0		99.3	621
13期末 (2025年3月17日)	9,346	0	△ 3.1		0.0		99.3	540
14期末 (2025年9月17日)	9,789	0	4.7		0.0		99.3	519
15期末 (2026年3月17日)	9,942	0	1.6		0.0		99.3	469

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

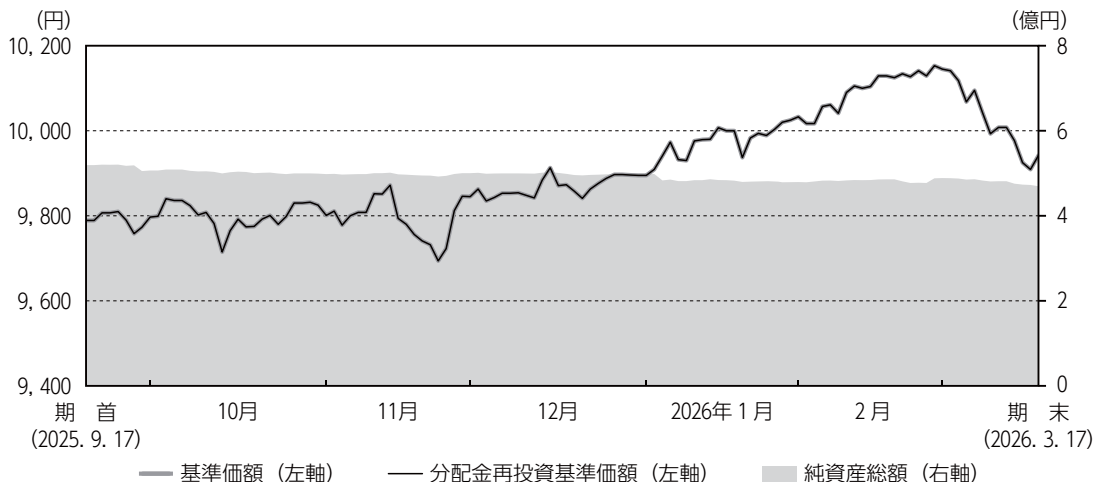
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：9,789円

期末：9,942円（分配金0円）

騰落率：1.6%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」で保有している株式など

すべての資産クラスがプラス寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュ・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 組 入	信 証 比	託 券 率
	円	騰 落 率 %					
(期 首) 2025年 9月17日	9,789	—		0.0			99.3
9 月末	9,797	0.1		0.0			99.3
10月末	9,801	0.1		0.0			99.4
11月末	9,845	0.6		0.0			99.5
12月末	9,895	1.1		0.0			99.4
2026年 1 月末	10,033	2.5		0.0			99.3
2 月末	10,145	3.6		0.0			99.1
(期 末) 2026年 3月17日	9,942	1.6		0.0			99.3

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

■ 海外金融市況

海外金融市場では、株式市場は上昇、国債金利は上昇（債券価格は下落）しました。

株式市場は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利下げ決定などを受け、上昇しました。さらに2025年10月下旬にかけては、成長期待が高まったA I（人工知能）・半導体関連企業が相場上昇をけん引し、株価は上昇しました。11月には、米国政府機関の一部閉鎖の影響が嫌気されて下落しましたが、同月下旬には利下げ観測が再び高まったことを好感し、反発しました。12月以降も、F R Bによる利下げの決定や流動性供給の開始、半導体関連企業の好業績などが好感され、株価は上昇しました。2026年1月以降は、経済指標の改善やインフレの沈静化が好感された一方で、「A I 脅威論」の台頭を受け、情報サービスやソフトウェア関連の企業が急落しました。また3月に入ると、中東情勢の緊迫化を受けて株価はさらに下落し、当作成期末を迎えました。

債券市場では、当作成期首より、雇用統計の結果などを受けて労働市場の悪化懸念が強まり、利下げ期待が高まったことなどから、2025年10月中旬にかけて、金利は低下（債券価格は上昇）しました。しかしその後は、F R B 議長が次回利下げについて慎重な姿勢を明確に示したことなどから、11月中旬にかけて金利は上昇しました。11月下旬には、F R B 高官の発言などを受けて年内の利下げ観測が高まり、金利は再び低下に転じました。12月は、F R B が利下げを決定し、さらに2026年の追加利下げを示唆したことなどから、短期年限の金利は低下した一方で、米国経済の底堅さを示す指標などを受け、中期から超長期年限の金利は上昇しました。2026年1月は、グリーンランドの領有問題をめぐる欧米の対立や、F R B の独立性への懸念などから米ドル離れの思惑が再燃したことに加え、米国で底堅い経済指標が示され、当面の利下げ観測が後退したことなどから、金利は上昇しました。2月末にかけては、消費者物価指数が市場予想を下回ったことなどから年央以降の利下げ観測が高まったことや、「A I 脅威論」により将来的な景気不安が意識されたことなどから、金利は低下しましたが、その後は中東情勢の緊迫化による原油価格の上昇を受けてインフレ懸念が再燃し、金利は上昇して当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2025. 9. 18 ~ 2026. 3. 17）

■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2025年9月18日 ～2026年3月17日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,400

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025. 9. 18~2026. 3. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	55円	0.559%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,908円です。
（投 信 会 社）	(16)	(0.164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(38)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	56	0.563	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

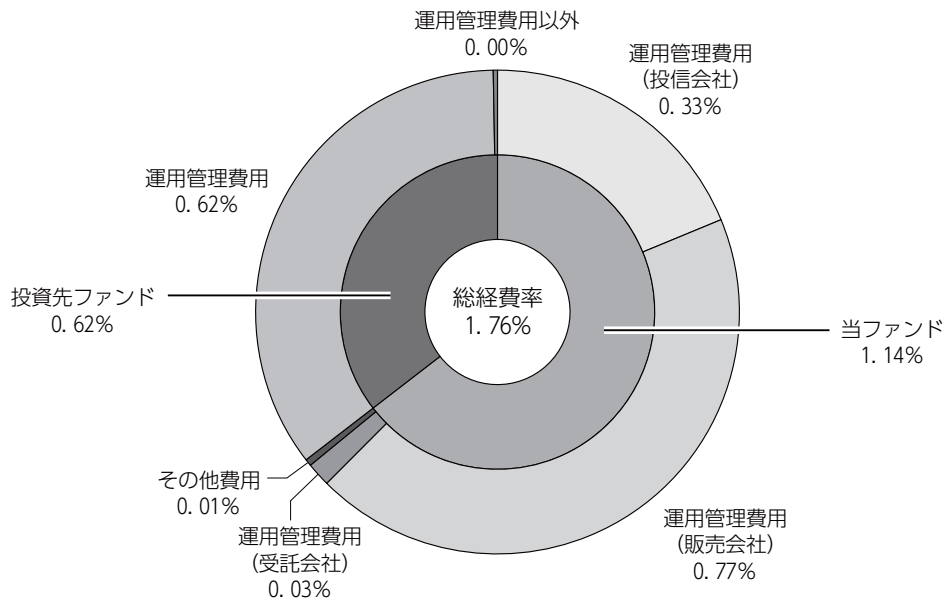
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まれます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.76%です。



総経費率 (① + ② + ③)	1.76%
①当ファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2025年9月18日から2026年3月17日まで）

		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国（邦貨建）	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	千口 257.336496	千円 20,728	千口 895.592848	千円 71,390

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON- HEDGED DISTRIBUTION CLASS	千口 5,870.914693	千円 466,279	% 99.3

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

*同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

(2) 親投資信託残高

種類	期首	当期末	
	口数	口数	評価額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 1	千口 1	千円 1

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2026年3月17日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 466,279	% 97.8
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	10,539	2.2
投資信託財産総額	476,821	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年3月17日現在

項目	当期末
(A) 資産	481,331,429円
コール・ローン等	6,029,833
投資信託受益証券（評価額）	466,279,787
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1,810
未収入金	9,019,999
(B) 負債	11,790,227
未払金	4,510,000
未払解約金	4,497,585
未払信託報酬	2,762,528
その他未払費用	20,114
(C) 純資産総額（A－B）	469,541,202
元本	472,265,521
次期繰越損益金	△ 2,724,319
(D) 受益権総口数	472,265,521口
1万口当り基準価額（C／D）	9,942円

*期首における元本額は530,327,992円、当作成期間中における追加設定元本額は21,963,737円、同解約元本額は80,026,208円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は9,942円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は2,724,319円です。

■損益の状況

当期 自2025年9月18日 至2026年3月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	8,723,006円
受取配当金	8,704,235
受取利息	18,771
(B) 有価証券売買損益	782,804
売買益	1,370,631
売買損	△ 587,827
(C) 信託報酬等	△ 2,782,642
(D) 当期損益金 (A + B + C)	6,723,168
(E) 前期繰越損益金	△ 26,528,932
(F) 追加信託差損益金	17,081,445
(配当等相当額)	(40,290,790)
(売買損益相当額)	(△ 23,209,345)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 2,724,319
次期繰越損益金 (G)	△ 2,724,319
追加信託差損益金	17,081,445
(配当等相当額)	(40,290,790)
(売買損益相当額)	(△ 23,209,345)
分配準備積立金	73,056,377
繰越損益金	△ 92,862,141

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	6,169,654円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	40,290,790
(d) 分配準備積立金	66,886,723
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	113,347,167
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	113,347,167
(h) 受益権総口数	472,265,521口

為替ヘッジなし／資産成長型

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入率	投資信託比率	純資産額
	(分配落)	税金込	騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
11期末 (2024年3月18日)	14,714	0	6.2	0.0	98.2	3,357
12期末 (2024年9月17日)	14,450	0	△ 1.8	0.0	99.3	4,011
13期末 (2025年3月17日)	15,161	0	4.9	0.0	99.2	4,288
14期末 (2025年9月17日)	16,026	0	5.7	0.0	98.9	4,569
15期末 (2026年3月17日)	18,015	0	12.4	0.0	99.2	5,333

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債組入率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

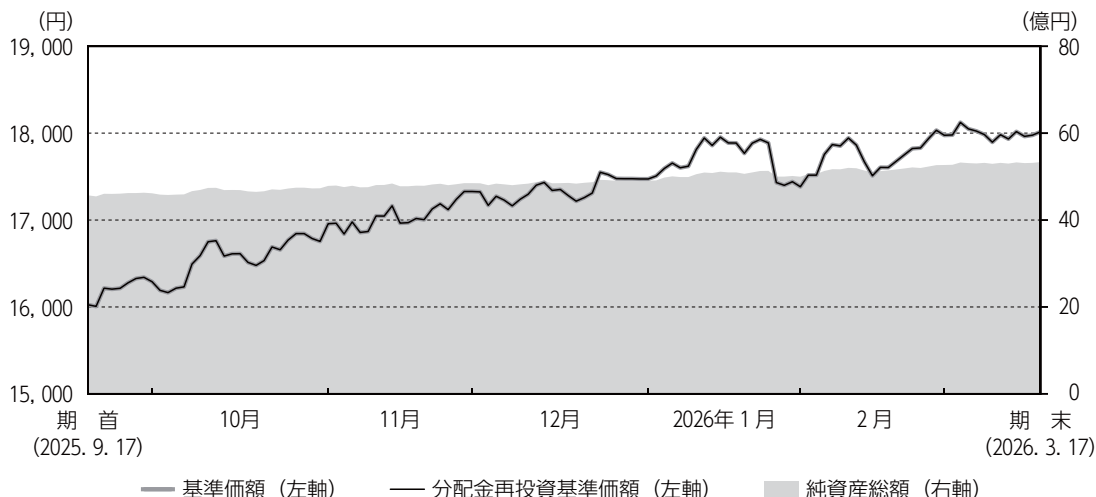
(注3) 公社債組入率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：16,026円

期末：18,015円（分配金0円）

騰落率：12.4%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」で保有している株式などすべての資産クラスがプラスに寄与したほか、米

ドル円為替相場が円安米ドル高となりプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 組 比	債 入 率	投 資 組 入	信 証 比	託 券 率
	円	騰 落 率					
(期 首) 2025年 9月17日	16,026	—		0.0			98.9
9 月末	16,290	1.6		0.0			99.2
10月末	16,957	5.8		0.0			99.3
11月末	17,328	8.1		0.0			99.4
12月末	17,473	9.0		0.0			99.4
2026年 1 月末	17,383	8.5		0.0			99.3
2 月末	17,975	12.2		0.0			98.8
(期 末) 2026年 3月17日	18,015	12.4		0.0			99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2025. 9. 18 ～ 2026. 3. 17）

■ 海外金融市況

海外金融市場では、株式市場は上昇、国債金利は上昇（債券価格は下落）しました。

株式市場は、当作成期首より、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利下げ決定などを受け、上昇しました。さらに2025年10月下旬にかけては、成長期待が高まったA I（人工知能）・半導体関連企業が相場上昇をけん引し、株価は上昇しました。11月には、米国政府機関の一部閉鎖の影響が嫌気されて下落しましたが、同月下旬には利下げ観測が再び高まったことを好感し、反発しました。12月以降も、F R Bによる利下げの決定や流動性供給の開始、半導体関連企業の好業績などが好感され、株価は上昇しました。2026年1月以降は、経済指標の改善やインフレの沈静化が好感された一方で、「A I 脅威論」の台頭を受け、情報サービスやソフトウェア関連の企業が急落しました。また3月に入ると、中東情勢の緊迫化を受けて株価はさらに下落し、当作成期末を迎えました。

債券市場では、当作成期首より、雇用統計の結果などを受けて労働市場の悪化懸念が強まり、利下げ期待が高まったことなどから、2025年10月中旬にかけて、金利は低下（債券価格は上昇）しました。しかしその後は、F R B 議長が次回利下げについて慎重な姿勢を明確に示したことなどから、11月中旬にかけて金利は上昇しました。11月下旬には、F R B 高官の発言などを受けて年内の利下げ観測が高まり、金利は再び低下に転じました。12月は、F R B が利下げを決定し、さらに2026年の追加利下げを示唆したことなどから、短期年限の金利は低下した一方で、米国経済の底堅さを示す指標などを受け、中期から超長期年限の金利は上昇しました。2026年1月は、グリーンランドの領有問題をめぐる欧米の対立や、F R B の独立性への懸念などから米ドル離れの思惑が再燃したことに加え、米国で底堅い経済指標が示され、当面の利下げ観測が後退したことなどから、金利は上昇しました。2月末にかけては、消費者物価指数が市場予想を下回ったことなどから年央以降の利下げ観測が高まったことや、「A I 脅威論」により将来的な景気不安が意識されたことなどから、金利は低下しましたが、その後は中東情勢の緊迫化による原油価格の上昇を受けてインフレ懸念が再燃し、金利は上昇して当作成期末を迎えました。

■ 為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、自民党総裁選挙の結果を受けた積極財政や緩和的な金融環境の継続への期待などから、投資家のリスク選好度が高まり、円安が進行しました。2026年1月には、日本の衆議院解散による積極財政推進への思惑などから円安が進行する場面もありました。

が、為替介入の前段階とされるレートチェックを日米双方の当局が実施したとの観測を受け、円高が進行しました。当作成期末にかけては、米国財務長官による強い米ドル政策を支持する発言や、高市首相が日銀の利上げに難色を示したとの報道、中東情勢の緊迫化を受けたエネルギー高などを受け、円安となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

（2025. 9. 18 ~ 2026. 3. 17）

■当ファンド

当ファンドは、「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。投資適格社債やハイイールド債券などのインカム系資産をポートフォリオの中心としながらも、株式についても一定の組入比率を維持しました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、信託財産の成長を考慮し、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2025年9月18日 ～2026年3月17日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	8,015

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」と「ダイワ・マネー・マザーファンド」へ投資します。「フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。投資適格社債やハイイールド債券を中心としたポートフォリオを維持しながら、優先証券や転換社債、株式にも投資を行います。市場が大きく動く局面を投資機会と捉え、ファンダメンタルズ対比で割安な水準で推移している銘柄の特定に注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025. 9. 18~2026. 3. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	97円	0.559%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は17,276円です。
（投 信 会 社）	(28)	(0.164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(66)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	97	0.563	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

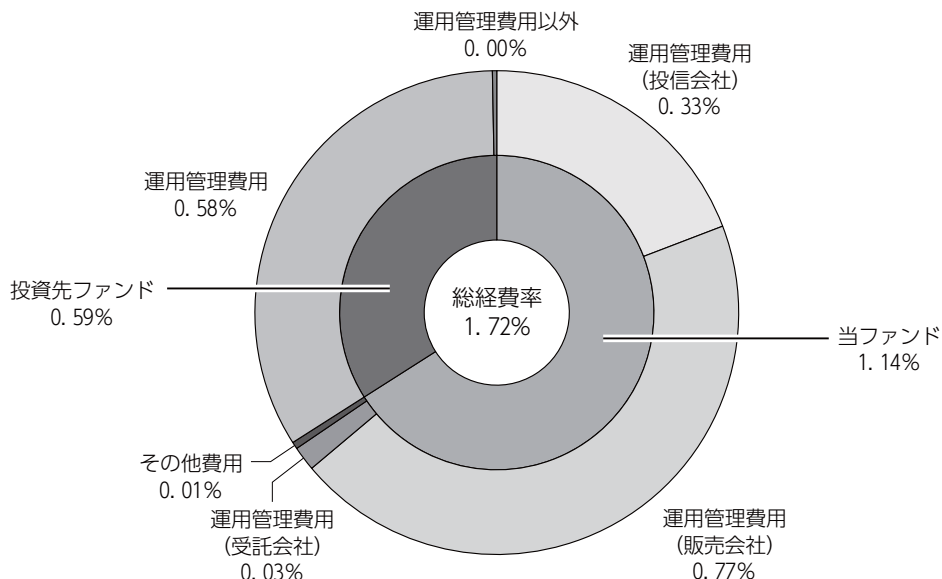
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まれます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.72%です。



総経費率（① + ② + ③）	1.72%
①当ファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2025年9月18日から2026年3月17日まで）

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国（邦貨建）	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	千口 3,352,685,267	千円 403,208	千口 865,808,727	千円 101,000

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON- HEDGED DISTRIBUTION CLASS	千口 43,349,085,91	千円 5,289,238	% 99.2

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネー・マザーファンド	千口 1	千口 1	千円 1

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2026年3月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 5,289,238	% 98.7
ダイワ・マネー・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	72,097	1.3
投資信託財産総額	5,361,337	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年3月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,361,337,852円
コール・ローン等	72,097,838
投資信託受益証券（評価額）	5,289,238,717
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	1,297
(B) 負債	27,690,686
未払解約金	38
未払信託報酬	27,489,588
その他未払費用	201,060
(C) 純資産総額（A－B）	5,333,647,166
元本	2,960,643,697
次期繰越損益金	2,373,003,469
(D) 受益権総口数	2,960,643,697口
1万口当り基準価額（C／D）	18,015円

* 期首における元本額は2,851,454,884円、当作成期間中における追加設定元本額は291,676,406円、同解約元本額は182,487,593円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は18,015円です。

■損益の状況

当期 自2025年9月18日 至2026年3月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	122,381,331円
受取配当金	122,190,909
受取利息	190,422
(B) 有価証券売買損益	450,510,306
売買益	467,297,138
売買損	△ 16,786,832
(C) 信託報酬等	27,690,648
	△
(D) 当期損益金 (A + B + C)	545,200,989
(E) 前期繰越損益金	726,395,611
(F) 追加信託差損益金	1,101,406,869
(配当等相当額)	(1,054,343,405)
(売買損益相当額)	(47,063,464)
(G) 合計 (D + E + F)	2,373,003,469
次期繰越損益金 (G)	2,373,003,469
追加信託差損益金	1,101,406,869
(配当等相当額)	(1,054,343,405)
(売買損益相当額)	(47,063,464)
分配準備積立金	1,271,596,600

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	116,466,609円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	428,734,380
(c) 収益調整金	1,101,406,869
(d) 分配準備積立金	726,395,611
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	2,373,003,469
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	2,373,003,469
(h) 受益権総口数	2,960,643,697口

フレキシブル・インカム・ファンド
(円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス)

当ファンド（NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）（為替ヘッジあり／資産成長型）（為替ヘッジなし／資産成長型））はケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー・ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス）」の受益証券（円建）を主要投資対象としております。以下の内容は、直近で入手可能な Financial Statements 等から抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

財政状態計算書
2024年12月31日

US\$

資産

現金および現金同等物	77,017,494
ブローカーからの預託貸越	87,543
金融資産（損益通算後の公正価値による評価額）	2,929,451,834
発行済み受益証券の未収入金	4,489,313
その他未収金	46,047,913

資産合計

3,057,094,097

負債

金融負債（損益通算後の公正価値による評価額）	2,257,570
償還済み受益証券の未払金	19,975
未払手数料	1,723,677

負債合計（償還可能資本参加型受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）

4,001,222

償還可能資本参加型受益証券保有者に帰属する純資産

3,053,092,875

包括利益計算書

2024年12月31日に終了した年度

US\$

投資収益

金融資産（損益通算後の公正価値による評価額）からの配当収益	25,575,191
現金および現金同等物からの受取利息	3,524,660
債券（損益通算後の公正価値による評価額）からの受取利息	133,009,919
外国為替純損益	127,182
金融資産および負債（損益通算後の公正価値による評価額）に係る純損益	17,001,548

投資収益合計

179,238,500

費用

受託会社報酬	307,683
運用会社報酬	15,384,338
管理会社報酬	1,230,734
保管会社報酬	787,130
為替運用会社報酬	268,194
為替計算代理人報酬	16,027
監査報酬	46,982
逆イールド費用	788
その他報酬・費用	107,916

営業費用合計

18,149,792

金融費用控除前営業損益

161,088,708

金融費用

分配金	(144,484,906)
-----	---------------

金融費用合計

(144,484,906)

償還可能資本参加型受益証券保有者に帰属する純資産の増減（税引前）

16,603,802

源泉徴収税

(15,229,279)

償還可能資本参加型受益証券保有者に帰属する純資産の増減（税引後）

1,374,523

投資明細表
2024年12月31日

銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)	銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)
投資適格社債					
カナダ					
COLUMBIA PIPE OC CPGX 6.544 11/15/53	45,690,719.19	1.50	PARAMOUNT GLOB PARA 6 7/8 04/30/36	16,812,529.62	0.55
ENBRIDGE INC ENBCN 8 1/2 01/15/2084	18,148,042.22	0.60	PIEDMONT OPERAT PDM 9 1/4 07/20/28	21,120,860.92	0.69
TRANSCANADA TRUS TRPCN 5 7/8 08/15/2076	14,527,694.08	0.48	REGAL REXNORD RRX 6.05 04/15/28	2,085,532.16	0.07
フランス					
ARCELORMITTAL MTNA 7 10/15/39	30,669,099.73	1.01	REGAL REXNORD RRX 6.4 04/15/33	36,272,012.06	1.19
ペルー					
SOUTHERN COPPER SCCO 5 7/8 04/23/45	10,319,179.41	0.34	REINSURANCE GRP RGA 7 1/8 10/15/52	22,363,207.80	0.74
米国					
ALTRIA GROUP INC MO 5.8 02/14/39	15,350,826.04	0.51	SPRINT CORP S 7 5/8 03/01/26	8,877,957.91	0.29
ANTERO RESOURCES AR 7 5/8 02/01/29	17,203,534.81	0.57	TIME WARNER ENT TWC 8 3/8 07/15/33	15,736,642.97	0.52
ARES FIN III LLC ARES 4 1/8 06/30/51	13,417,031.37	0.44	TRANSCANADA TRST TRPCN 5.6 03/07/2082	17,459,653.50	0.57
BAT CAPITAL CORP BATSLN 7.081 08/02/53	25,456,584.91	0.84	VALERO ENERGY VLO 6 5/8 06/15/37	14,936,775.30	0.49
CELANESE US HLDS CE 6.165 07/15/27	11,730,154.80	0.39	VICI PROPRTIE VICI 5 5/8 05/15/52	22,580,740.79	0.74
CELANESE US HLDS CE 6.8 11/15/30	11,508,597.94	0.38	WARNERMEDIA HLDG WBD 5.141 03/15/52	20,564,592.76	0.68
CHARTER COMM OPT CHTR 6.484 10/23/45	30,777,649.44	1.01	XPO INC XPO 6 1/4 06/01/28	12,272,299.44	0.40
DIAMONDBACK ENER FANG 6 1/4 03/15/33	14,958,975.91	0.49	ハイ・イールド社債		
DOMINION ENERGY D 6 7/8 02/01/55	17,926,192.88	0.59	カナダ		
DOMINION ENERGY D 7 06/01/54	26,014,525.90	0.86	ALGONQUIN POWER AQNCN 8.86372 07/01/2079	5,855,352.62	0.19
EDISON INTL EIX 7 7/8 06/15/54	14,491,310.02	0.48	EMERA INC EMACN 6 3/4 06/15/2076	38,383,771.63	1.26
EDISON INTL EIX 8 1/8 06/15/53	6,362,962.88	0.21	SOUTH BOW CANADI SOUBOW 7 1/2 03/01/55	15,785,550.94	0.52
ENERGY TRANS ET 8 05/15/54	35,289,976.89	1.16	米国		
ENSTAR FINANCE ESGR 5 1/2 01/15/42	9,434,927.53	0.31	AES CORP/THE AES 7.6 01/15/55	26,946,339.31	0.89
ENSTAR FINANCE ESGR 5 3/4 09/01/40	9,657,710.01	0.32	ALBERTSONS COS ACI 6 1/2 02/15/28	11,016,364.66	0.36
FORD MOTOR CO F 5.291 12/08/46	25,270,276.77	0.83	ALBERTSONS COS ACI 7 1/2 03/15/26	42,570,215.65	1.40
FORD MOTOR CRED F 7.35 11/04/27	17,077,066.83	0.56	AMKOR TECH INC AMKR 6 5/8 09/15/27	38,082,881.84	1.25
GENERAL MOTORS C GM 6.6 04/01/36	41,643,413.72	1.37	ASHLAND INC ASH 6 7/8 05/15/43	15,611,742.27	0.51
GMAC LLC ALLY 8 11/01/31	31,174,275.85	1.03	BATH & BODY WORKS INC 6.875 11/01/2035	34,147,324.05	1.12
HCA INC HCA 5 1/8 06/15/39	14,776,560.74	0.49	BUILDERS FIRSTSO BLDR 6 3/8 03/01/34	15,223,608.45	0.50
HP ENTERPRISE HPE 6.35 10/15/45	60,020,670.42	1.97	CAESARS ENT CZR 6 1/2 02/15/32	23,483,357.21	0.77
LIBERTY MUTUAL LIBMUT 7.8 03/15/37	3,878,996.17	0.13	CCO HOLDINGS LLC CHTR 7 3/8 03/01/31	13,729,477.40	0.45
METLIFE INC MET 10 3/4 08/01/39	8,230,657.79	0.27	CHART INDUSTRIES GTLS 7 1/2 01/01/30	15,888,367.68	0.52
MORGAN STANLEY MS 5.948 01/19/38	17,189,941.79	0.57	CIVITAS RESOURCE CIVI 8 5/8 11/01/30	15,287,336.64	0.50
NEXTERA ENERGY NEE 5.65 05/01/2079	31,187,503.32	1.03	CNF INC CNW 6.7 05/01/34	13,694,552.57	0.45
NEXTERA ENERGY NEE 6 3/4 06/15/54	9,247,337.19	0.30	EUSHI FINANCE EMACN 7 5/8 12/15/54	20,284,171.30	0.67
ORACLE CORP ORCL 6 1/2 04/15/38	21,766,331.04	0.72	GAP INC/THE GAP 3 5/8 10/01/29	9,156,328.55	0.30
			GAP INC/THE GAP 3 7/8 10/01/31	6,754,754.06	0.22
			GCI LLC GCILLC 4 3/4 10/15/28	15,222,246.83	0.50
			GOODYEAR TIRE GT 9 1/2 05/31/25	4,385,795.96	0.14
			IRON MOUNTAIN IRM 7 02/15/29	31,424,326.67	1.03

NWQグローバル厳選証券ファンド

銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)	銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)
LEVEL 3 FIN INC LVL1 11/15/29	23,178,136.68	0.76	FIRST CITIZENS FCNCA Float PERP	11,686,866.00	0.38
LIGHT & WONDER LNW 7 1/2 09/01/31	35,435,299.22	1.17	GEN MOTORS FIN GM 5.7 PERP	11,282,599.71	0.37
NEXSTAR BROADC NXST 4 3/4 11/01/28	4,489,921.49	0.15	GEN MOTORS FIN GM 6 1/2 PERP	11,742,459.21	0.39
NEXSTAR ESCROW NXST 5 5/8 07/15/27	32,166,546.63	1.06	GOLDMAN SACHS GP GS 7 1/2 PERP	35,611,190.66	1.17
NORDSTROM INC JVN 5 01/15/44	15,081,963.68	0.50	JPMORGAN CHASE JPM 6 7/8 PERP	23,755,514.84	0.78
NORTONLIFELOCK GEN 7 1/8 09/30/30	15,130,828.54	0.50	LAND O'LAKES INC LLAKES 7 1/4 PERP	1,481,881.14	0.05
PARAMOUNT GLOB PARA 6 3/8 03/30/62	10,564,978.18	0.35	LAND O'LAKES INC LLAKES 7 PERP	691,639.99	0.02
PBF HOLDING CO PBFENE 6 02/15/28	15,279,553.11	0.50	MORGAN STANLEY MS 6 1/2 PERP	4,596,164.00	0.15
PERMIAN RESR OPR PR 7 01/15/32	15,501,333.04	0.51	MORGAN STANLEY MS 6 5/8 PERP	24,829,080.43	0.82
PG&E CORP PCG 7 3/8 03/15/55	23,334,010.79	0.77	MORGAN STANLEY MS 6 7/8 PERP	1,455,982.00	0.05
ROLLER BEARING RBC 4 3/8 10/15/29	20,674,508.69	0.68	MORGAN STANLEY MS 7 1/8 PERP	12,171,607.98	0.40
SEAGATE HDD CAYM STX 4.091 06/01/29	9,185,261.41	0.30	NATIONAL STORAGE NSA 6 PERP	4,726,767.32	0.16
SEAGATE HDD CAYM STX 9 5/8 12/01/32	30,414,377.53	1.00	NRG ENERGY INC NRG 10 1/4 PERP	32,989,764.56	1.09
SEALED AIR CORP SEE 6 7/8 07/15/33	32,019,016.67	1.05	PNC FINANCIAL PNC 6.2 PERP	20,603,574.66	0.68
SEALED AIR/US SEE 7 1/4 02/15/31	2,314,142.15	0.08	SCE TRUST VII EIX 7 1/2 PERP	24,010,126.25	0.79
SYMANTEC CORP GEN 5 04/15/25	7,738,491.10	0.25	STATE STREET CRP STT 6.7 PERP	23,088,215.03	0.76
TENET HEALTHCARE THC 6 1/8 10/01/28	11,604,087.00	0.38	SYNCHRONY FINANC SYF 5 5/8 PERP	6,068,552.00	0.20
UNITED RENTAL NA URI 5 1/4 01/15/30	22,072,256.18	0.73	VISTRA CORP VST 7 PERP	9,583,731.03	0.32
VIASAT INC VSAT 5 5/8 04/15/27	15,663,845.82	0.52	VISTRA CORP VST 8 7/8 PERP	32,043,017.26	1.05
WESCO DISTRIBUT WCC 7 1/4 06/15/28	14,417,194.09	0.47	VISTRA CORP VST 8 PERP	38,982,254.74	1.28
XPO INC XPO 7 1/8 06/01/31	14,081,452.48	0.46	WELLS FARGO CO WFC 5 7/8 PERP	6,355,082.87	0.21
優先証券			WELLS FARGO CO WFC 7 5/8 PERP	34,197,463.08	1.12
米国			WESCO INTL WCC 10 5/8 PERP	18,960,875.12	0.62
ALLSTATE CORP ALL 7 3/8 PERP	16,776,509.64	0.55	転換社債		
ALLY FINANCIAL ALLY 4.7 PERP	22,874,079.44	0.75	米国		
ALLY FINANCIAL ALLY 4.7 PERP	6,309,168.04	0.21	BANK OF AMER CRP BAC 7 1/4 PERP	23,719,289.50	0.78
AMERICAN EXPRESS AX 3.55 PERP	16,559,416.59	0.54	CHART INDUSTRIES GTLS 6 3/4 12/15/25	4,729,208.00	0.16
ATHENE HOLDING ATH 6 3/8 PERP	16,900,388.82	0.56	FIRSTENERGY CORP FE 4 05/01/26	14,344,366.67	0.47
ATHENE HOLDING ATH 6.35 PERP	8,049,591.48	0.26	HP ENTERPRISE HPE 7 5/8 09/01/27	5,996,204.78	0.20
BANK OF AMER CRP BAC 6.1 PERP	18,256,095.26	0.60	SEAGATE HDD CAYM STX 3 1/2 06/01/28	21,122,004.17	0.69
BANK OF AMER CRP BAC 6.3 PERP	12,069,351.47	0.40	WELLS FARGO CO WFC 7 1/2 PERP	30,207,682.83	0.99
CAPITAL ONE FINL COF 3.95 PERP	4,509,653.77	0.15	WESTERN DIGITAL WDC 3 11/15/28	21,261,333.33	0.70
CHS INC CHSINC 6 3/4 PERP	18,046,827.96	0.59	普通株式		
CHS INC CHSINC 7 7/8 PERP	7,188,570.18	0.24	フランス		
CHS INC CHSINC 7.1 PERP	8,496,933.54	0.28	SANOFI-ADR	15,231,034.00	0.50
CITIGROUP INC C 4 PERP	17,616,020.84	0.58	米国		
CITIGROUP INC C 5.95 PERP	5,687,110.77	0.19	ALPHABET INC-CL C	34,717,212.00	1.14
CITIGROUP INC C 6 1/4 PERP	17,957,438.32	0.59	AMERICAN TOWER CORP	12,306,811.00	0.40
CITIGROUP INC C 7 3/8 PERP	19,857,613.17	0.65	AMGEN INC	6,620,256.00	0.22
DISCOVER FIN SVS DFS 6 1/8 PERP	9,484,829.11	0.31	APPLIED MATERIALS INC	11,937,042.00	0.39
EDISON INTL EIX 5 PERP	16,647,481.48	0.55	BOYD GAMING CORP	20,434,518.00	0.67
ENERGY TRANSFER ET 7 1/8 PERP	15,747,565.34	0.52	CARRIER GLOBAL CORP	15,119,590.00	0.50
ENSTAR GROUP LTD ESGR 7 PERP	4,803,027.35	0.16	CONOCOPHILLIPS	11,404,550.00	0.38

銘柄名	評価額 (US\$)	純資産に 占める 割合(%)
CORNING INC	19,259,856.00	0.63
EMERSON ELECTRIC CO	14,883,993.00	0.49
EVEREST GROUP LTD	15,114,582.00	0.50
EXXON MOBIL CORP	28,118,798.00	0.92
GEN DIGITAL INC	17,597,126.00	0.58
GENERAL DYNAMICS CORP	16,652,568.00	0.55
HEWLETT PACKARD ENTERPRIS	22,767,640.00	0.75
HOME DEPOT INC	8,246,588.00	0.27
HUBBELL INC	17,634,850.11	0.58
HUNTINGTON INGALLS INDUST	14,475,102.00	0.48
JPMORGAN CHASE & CO	19,416,510.00	0.64
MCDONALD'S CORP	15,799,005.00	0.52
NVENT ELECTRIC PLC	27,575,286.72	0.91
PARKER HANNIFIN CORP	16,473,177.00	0.54
PEPSICO INC	7,390,116.00	0.24
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	20,170,660.00	0.66
REGAL REXNORD CORP	6,825,720.00	0.22
REXFORD INDUSTRIAL REALTY	12,000,064.00	0.39
SEMPRA	21,089,116.08	0.69
UNITED PARCEL SERVICE-CL	15,157,220.00	0.50
VALERO ENERGY CORP	9,782,682.00	0.32
WALMART INC	23,825,295.00	0.78
WALT DISNEY CO/THE	28,951,000.00	0.95

ダイワ・マネー・マザーファンド

<補足情報>

当ファンド（NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）（為替ヘッジあり／資産成長型）（為替ヘッジなし／資産成長型））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2025年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2026年3月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

公 社 債

（2025年9月18日から2026年3月17日まで）

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
1364国庫短期証券 2026/5/25	16,069,635		
1344国庫短期証券 2026/2/24	15,980,819		
1343国庫短期証券 2026/2/16	4,794,076		

（注1）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

（注2）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2026年3月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（26,796,981千円）の内容です。

(1)国内（邦貨建）公社債（種類別）

作 成 期	2026年3月17日現在							
	区 分	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入 比	残存期間別組入比率		
						5年以上	2年以上	2年未満
		千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券		16,100,000	16,076,720	58.7	—	—	—	58.7

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

（注3）評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入力しています。

(2)国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2026年3月17日現在						
区 分	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
		%	千円	千円		
国債証券	1364国庫短期証券	—	16,100,000	16,076,720	2026/05/25	

（注）単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書 第21期 (決算日 2025年12月9日)

(作成対象期間 2024年12月10日～2025年12月9日)

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

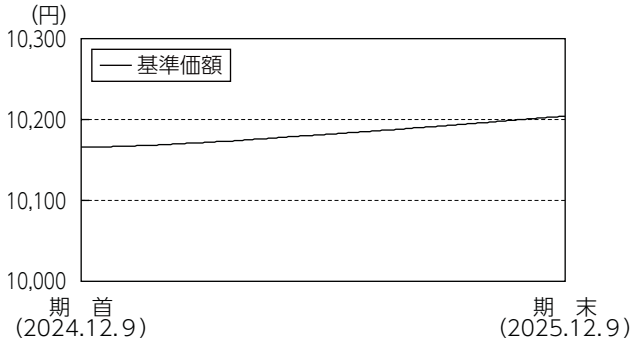
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

ダイワ・マネー・マザーファンド

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
	円	%	%
(期首)2024年12月9日	10,166	-	59.0
12月末	10,166	0.0	57.5
2025年1月末	10,168	0.0	55.9
2月末	10,170	0.0	59.7
3月末	10,173	0.1	60.0
4月末	10,176	0.1	61.8
5月末	10,180	0.1	52.0
6月末	10,184	0.2	60.0
7月末	10,187	0.2	57.7
8月末	10,191	0.2	59.8
9月末	10,195	0.3	55.1
10月末	10,199	0.3	51.8
11月末	10,203	0.4	58.2
(期末)2025年12月9日	10,204	0.4	61.1

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,166円 期末：10,204円 騰落率：0.4%

【基準価額の主な変動要因】

利息収入により、基準価額は上昇しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

日銀の利上げを受けて、短期金利は上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2024年12月10日から2025年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円	千円
		78,231,674	(71,400,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2024年12月10日から2025年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
金 額		金 額	
千円		千円	
1344国庫短期証券	2026/2/24	15,980,819	
1306国庫短期証券	2025/8/18	13,492,845	
1325国庫短期証券	2025/11/17	12,985,752	
1296国庫短期証券	2025/6/30	11,489,972	
1277国庫短期証券	2025/3/31	10,796,144	
1343国庫短期証券	2026/2/16	4,794,076	
1286国庫短期証券	2025/5/12	3,497,277	
1324国庫短期証券	2025/11/10	2,897,018	
1305国庫短期証券	2025/8/12	2,297,769	

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期			末				
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 20,800,000	千円 20,780,911	% 61.1	% -	% -	% -	% -	% 61.1

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
 (注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
 (注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	当 期		末	
		年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	1343国庫短期証券	%	千円 4,800,000	千円 4,795,829	2026/02/16
	1344国庫短期証券	-	16,000,000	15,985,081	2026/02/24
合計	銘柄数 金額	2銘柄	20,800,000	20,780,911	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年12月9日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公社債	千円 20,780,911	% 58.7	千円 20,780,911	% 58.7
コール・ローン等、その他	14,609,573	41.3	14,609,573	41.3
投資信託財産総額	35,390,484	100.0	35,390,484	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年12月9日現在

項 目	当 期	末
(A) 資産	35,390,484,519円	35,390,484,519円
コール・ローン等	14,609,573,235	14,609,573,235
公社債(評価額)	20,780,911,284	20,780,911,284
(B) 負債	1,402,481,300	1,402,481,300
未払解約金	1,402,481,300	1,402,481,300
(C) 純資産総額(A-B)	33,988,003,219	33,988,003,219
元本	33,307,565,574	33,307,565,574
次期繰越損益金	680,437,645	680,437,645
(D) 受益権総口数	33,307,565,574口	33,307,565,574口
1万口当り基準価額(C/D)	10,204円	10,204円

* 期首における元本額は23,177,163,591円、当作成期間中における追加設定元本額は50,088,245,959円、同解約元本額は39,957,843,976円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額:

ゴールド・ファンド (FOFs用) (適格機関投資家専用)	16,688,116,164円
ダイワ・グローバルOT関連株ファンド - A1新時代- (為替ヘッジあり)	1,316円
ダイワ・グローバルOT関連株ファンド - A1新時代- (為替ヘッジなし)	1,316円
ダイワFEGグローバル・バリュウ (為替ヘッジあり)	9,608円
ダイワFEGグローバル・バリュウ (為替ヘッジなし)	9,608円
世界水資源関連連株式ファンド	984円
ダイワ/RICI [®] コモディティ・ファンド	2,074,249円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/隔月分配型)	1,595円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/隔月分配型)	1,428円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジあり/資産成長型)	1,772円
NWQグローバル厳選証券ファンド (為替ヘッジなし/資産成長型)	1,270円
世界セレクトティブ株式オープン	983円
世界セレクトティブ株式オープン (年2回決算型)	983円
iFreeETF NASDAQ100インバース	1,560,811,028円
iFreeETF NASDAQ100レバレッジ	5,806,034,797円
iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース	5,083,866,572円
iFreeETF 米国10年国債先物インバース	263,370,352円
iFreeETF 英国FTSE100	259,617,276円
DCダイワ・マネー・ポートフォリオ	3,643,629,488円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	1,851円
リターンズ- 日本円・コース (毎月分配型)	1,851円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	1,805円
リターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型)	1,805円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	1,763円
リターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	1,763円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	1,957円
リターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型)	1,957円
ダイワFEGグローバル・バリュウ株ファンド (ダイワSMA専用)	3,666円
ダイワ・アンビット・インド小型株ファンド	984円
ブラクストーン・プライベート・クレジット・JPYファンド (毎月分配型)	982円
ダイワ米国株ストラテジーα (通貨選択型) - トリプル	1,777円
リターンズ- 通貨セレクト・コース (毎月分配型)	1,777円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,204円です。

■損益の状況

当期 自2024年12月10日 至2025年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	102,466,182円
受取利息	102,466,182
(B) 有価証券売買損益	384
売買益	384
(C) 当期損益金(A + B)	102,466,566
(D) 前期繰越損益金	383,987,511
(E) 解約差損益金	△729,085,419
(F) 追加信託差損益金	923,068,987
(G) 合計(C + D + E + F)	680,437,645
次期繰越損益金(G)	680,437,645

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。(下線部を変更)

<変更前>

(運用報告書)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

<変更後>

(運用状況にかかる情報)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。